

ロックドリル部門：コアコンピタンスを確立し持続的成長を促進

～「KEEP THE BEAT!!!」で強靱な組織を目指す～

当社（社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（社長：荻野 正浩）は、関係会社を含めたロックドリル部門の組織全体が一つとなり持続的な成長を促進するため、コアコンピタンスを確立し、キャッチコピーおよびビジュアルを設定しました。



メインビジュアル

古河ロックドリルは、1914（大正3）年に日本人の体格にあった国産初の手持ち式さく岩機「足尾式三番型さく岩機」を独自に開発しました。以降、技術を進化・応用させ、現在は油圧ブレーカ、油圧・空圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠な製品を展開し、さく岩機トップメーカーとして業界をリードしています。

これら製品群に搭載される「ドリフタ（さく岩機）」は、回転しながら打撃を加えることで岩盤を破碎する心臓部の製品です。打撃・回転・推力・フラッシングの4つの要素をバランスよく正確に制御を行うことで最適なせん孔を実現し、なおかつ高速、高圧、高温の過酷な条件下での高い耐久性をもっており、現在の製品群の核心（コア）＝強みとなっています。

そこで、ロックドリル部門が一丸となって持続的に成長するため、強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピーおよびビジュアルを設定しました。

2025年ビジョンの達成とその後の新たなステージを迎えるにあたり、「ドリフタ」という強みを再認識し、その技術を磨き上げ発展させることを全社横断的に取り組むことにより、お客さまにより良い製品を提供していきます。

コアコンピタンス キャッチコピー

■メインコピー 「KEEP THE BEAT!!!」

メインコピーは、ドリフタの特徴である「BEAT」（力強さ）をもって、常に前進するという意味を込めています。

■サブコピー 「革新という伝統」「その壁を、突き破れ！」

サブコピーは、常に革新を追い求め最新技術と向き合う挑戦者としての歴史と情熱、またその成果である抜群の開発力、技術力を表現しています。

■ボディーコピー 「1/1000mmに挑み続ける技術と情熱は、世界最高峰のドリフタへ昇華する。」

ドリフタの打撃機構は、内蔵するピストンが1分間に3000回以上の往復運動を行うことで生み出されます。その超高速な往復運動を安定して実現するため、独自の技術力とノウハウで1/1000mm単位の機械加工を行っています。ボディーコピーは、最新技術への挑戦と1/1000ミリの違いにこだわる職人魂が世界最高峰のドリフタを生み出している様子を表現しています。

コアコンピタンス ビジュアル

■「革新という伝統」



メインビジュアル



サブビジュアル①



サブビジュアル②

■「その壁を、突き破れ！」



メインビジュアル



サブビジュアル①



サブビジュアル②

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：明治8年（1875年）8月

設立：大正7年（1918年）4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,804人 〈単独〉204人 [2022年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：荻野 正浩

事業内容：1914年、国産初の手持ちさく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961年6月

資本金：4億円

従業員数：494人 [2022年3月31日現在]

WEBサイト：<http://www.furukawarockdrill.co.jp/index.htm>